

RV8-S060054-2

Flebo オフィス

FNX0660

一括設定リファレンスマニュアル

第2版

2007年4月

株式会社フジクラ

目次

はじめに	3
1. 一括設定機能とは？	3
2. 一括設定機能の使い方	4
2.1. 設定ファイルの作成方法	4
2.2. 一括設定の手順	5
3. 設定ファイルの構造	7
4. 一括設定時のエラー出力について	9
5. コンフィグ項目一覧	11
OFFICE_WAN_TYPE	12
IP1	12
GATEWAY	12
PPPOE_USERNAME	12
PPPOE_PASSWORD	12
PPPOE_OWN_MEMBERID	13
PPPOE_MEMBER_ALIAS**	13
PPPOE_MEMBER_IPADDRESS**	13
RMT_CFG**_ACCEPT	13
PPPOE_MEMBER_ENABLE**	14
SNMP_SET_ENABLE	14
SNMP_RWCOMMUNITY	14
SNMP_GET_ENABLE	14
SNMP_ROCOMMUNITY	15
SNMP_TRAP*_ENABLE	15
SNMP_TRAP*_COMMUNITY	15
SNMP_TRAP*_IPADDRESS	16
SNMP_SYSCONTACT	16
SNMP_SYSNAME	16
SNMP_SYSLOCATION	16
SNMP_COLDSTART_ENABLE	16
SNMP_WARMSTART_ENABLE	17
SNMP_LINKUP_WAN_ENABLE	17
SNMP_LINKUP_LAN_ENABLE	17
SNMP_LINKUP_ADMIN_ENABLE	17
SNMP_LINKDOWN_WAN_ENABLE	17
SNMP_LINKDOWN_LAN_ENABLE	18
SNMP_PPPOEESTABLISH_ENABLE	18
SNMP_PPPOEFAIL_ENABLE	18
SNMP_EQUIPMENTFAIL_ENABLE	18
SNMP_VPNESTABLISH_ENABLE	18
SNMP_VPNFAIL_ENABLE	19
SNMP_REMOTE_LINKUP_LAN_ENABLE	19
SNMP_REMOTE_LINKUP_ADMIN_ENABLE	19
SNMP_REMOTE_LINKDOWN_LAN_ENABLE	19
SNMP_REMOTE_LINKDOWN_ADMIN_ENABLE	19
SNMP_REMOTE_EQUIPMENTFAIL_ENABLE	20
WAN_MODE	20

LAN1_MODE	20
LAN2_MODE	20
LAN3_MODE	21
LAN4_MODE	21
ADMIN_MODE	21
WAN_MDI	21
LAN1_MDI	21
LAN2_MDI	22
LAN3_MDI	22
LAN4_MDI	22
ADMIN_MDI	22
OWN_VPN_ID	22
PRI_UNTAG	23
PRI_BACKGROUND	23
PRI_SPARE	23
PRI_BESTEFFORT	23
PRI_EXCELLENTEFFORT	24
PRI_CONTROLLEDLOAD	24
PRI_VIDEO	24
PRI_VOICE	24
PRI_NETWORKCONTROL	25
WAN_BANDWIDTH	25
KEEP_ALIVE_TIME	25
SELECT_MTU	25
LOOP_DETECT_ENABLE	26
DMZ_IP	26
DMZ_NETMASK	26
DMZ_GATEWAY	26
VLANTAG_MAP_ENABLE	26
MAPMETHOD_VPNSEPARATE	27
PPPOEOFF_VPN_ID**	27
PPPOEOFF_VLAN_ID**	27
PPPOEOFF_VLAN_COS**	28
PASSWORD	28
PASSWORD_2	28
コンフィグ項目 索引 (アルファベット順)	29

はじめに

本書では、管理用 GUI からテキストファイルを読み込んで装置の設定を行なう「一括設定」機能について解説します。

このマニュアルは、FNX0660 システムバージョン V1.1.0 以降について説明したものです。それ以前のシステムバージョンでは一括設定機能はご使用になれません。

1 . 一括設定機能とは？

一括設定機能とは、FNX0660 の各種設定を記述したテキストファイルをあらかじめ用意しておき、それを GUI 画面から読み込ませることで、装置内の全ての設定項目について一度に値を設定することのできる機能です。

これにより、GUI により 1 項目ごと設定を変えていく方法に加え、全てのコンフィグ項目を一度に変える事が可能になり、設置時の設定作業が短時間で可能になります。

また、全設定記録で PC 上に保存した設定ファイルをそのまま読み込むことができますので、あらかじめ保存しておいた設定ファイルを使い、全く同じ設定を別の装置に移植することができます。

また、設定ファイルはテキストフォーマットなので、簡単にカスタマイズができます。装置ごとに設定が異なる項目(例えば自拠点 ID、PPPoE のユーザ ID 等)だけをテキストエディタで編集し(*1)、一括設定機能で装置に設定することで、複数の機器の初期設定を簡単に行なうことができます。

*1 設定項目の内、Web へログインするためのパスワードについては暗号化されているため編集できません。詳しくは 5 項コンフィグ項目の password、password_2 の項を参照してください。

2. 一括設定機能の使い方

2.1. 設定ファイルの作成方法

一括設定で読み込ませるファイルは全設定記録で保存されるファイルと同一形式になっています。初めに実際の装置を用い、GUI 設定画面から「管理者設定」 - 「全設定記録」を行い、設定ファイルを PC 上に保存します。このファイルを一括設定用の設定ファイルの雛形としてご使用いただくことができます。

設定ファイルの作成手順



上記の手順で作成した設定ファイルは、テキスト形式になっていますので、メモ帳などテキストエディタを使って内容を確認したり、編集したりすることができます。

設定ファイルを編集する場合は、本マニュアルをよく読み、内容を充分ご理解いただいた上で変更してください。

また一括設定で読み込みできるファイル名には以下の制限があります。

下記条件以外のファイル名に変更しますと、読み込み時にエラーとなりますのでご注意ください。

- ・ 設定ファイル名の先頭は、config_all でなければなりません。
- ・ 設定ファイルの拡張子は .dat または .txt でなければなりません。

例) config_all_Flebo-No01.dat

また設定ファイルの漢字コードは Shift-JIS フォーマットでなければなりません。

全設定記録で保存したファイルは、この Shift-JIS フォーマットになっています。これ以外のフォーマットを使用した場合、拠点名称等で漢字等が使われている場合に、正しく読み込みができませんのでご注意ください。

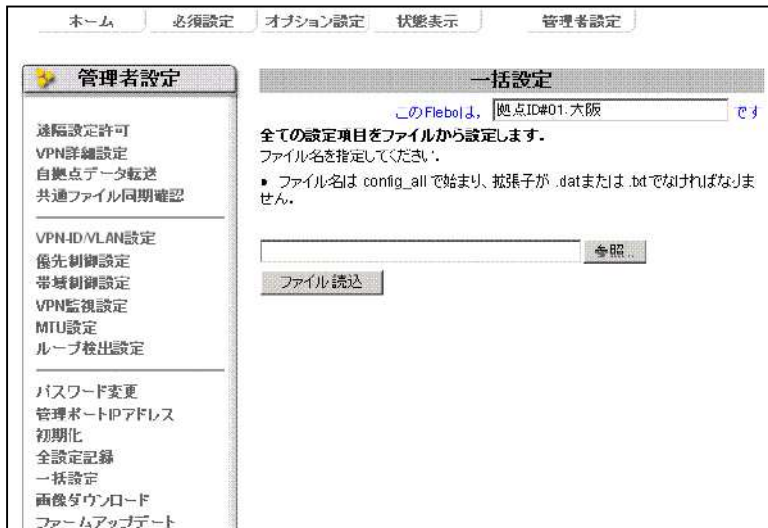
2.2. 一括設定の手順

一括設定は以下の手順で行ないます。

設定ファイルの読み込み

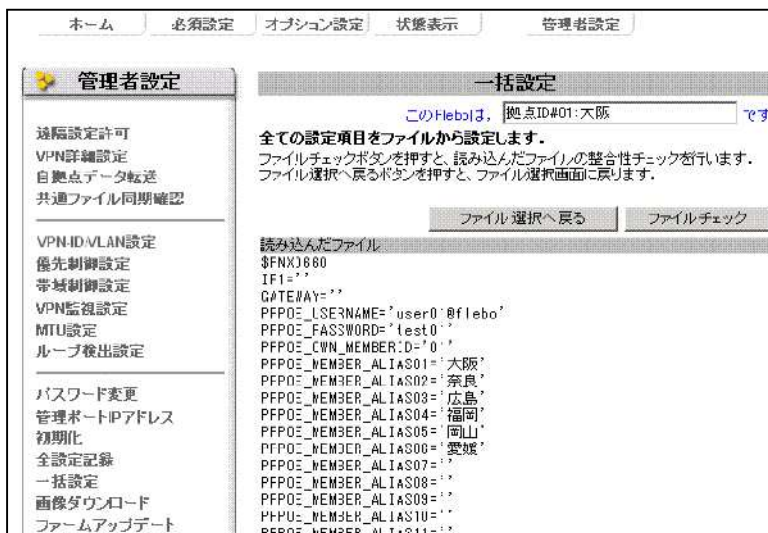
GUI 画面の「管理者設定」 - 「一括設定」を選択し、一括設定ページを開きます。

以下のようなページが表示されます。



ここで[参照]ボタンを押し、PC 上に保存してある設定ファイルのファイル名を指定し、つづいて[ファイル読み込]ボタンでファイルを読み込みます。

以下のように読み込んだファイルの内容が表示されます。



読み込んだファイルの内容が表示されますので、指定したファイルに間違いがないことを確認してください。

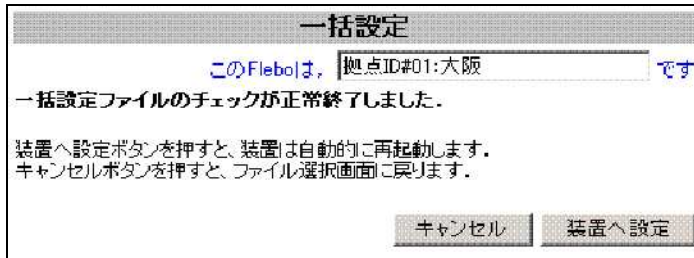
設定ファイルの正常性チェック

[ファイルチェック]ボタンを押すと、設定値が範囲内かどうかなど、読み込んだファイルの正常性を装置がチェックします。

ファイルチェック結果の表示と装置への反映

(1) ファイルチェック正常終了の場合

読み込んだファイルに問題が無く、ファイルチェックが正常終了すると、以下のような画面が表示されます。



ここで[装置へ設定]ボタンを押すと、読み込んだ設定を装置に反映させます。

[キャンセル]ボタンを押すと、今までの一括設定の作業が取り消され、ファイル選択画面へ戻ります。

(注意) [装置へ設定]ボタンを押すと、装置は自動的に再起動します。

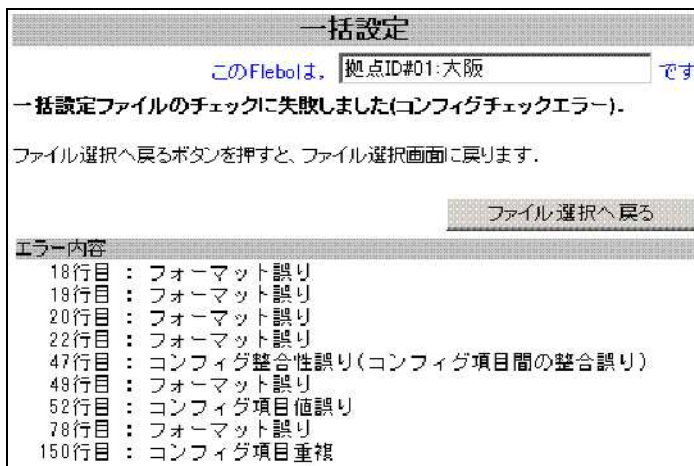
再起動が終了するまで、電源を抜かないで下さい。

またファイルチェックが完了した状態で、[キャンセル]または[装置へ設定]ボタンを押さなかった場合、SNMP や一括設定以外の GUI 画面からの各種設定変更ができません。

必ず[キャンセル]または[装置へ設定]ボタンを押し、一括設定作業を中止または完了してください。

(2) ファイルチェックでエラーを検出した場合

ファイルチェック時に、設定ファイルに何らかの誤りを検知すると、以下のようなエラー内容を表示します。



設定ファイルを見直し、誤りを正してからもう一度読み込み、[ファイルチェック]を行なって下さい。

エラー内容の詳細については4項、各コンフィグ項目の意味や設定値の範囲など詳細は5項を参照してください。

3 . 設定ファイルの構造

ここでは設定ファイルの基本的な構造について説明します。

設定ファイルを編集してお使いになる場合は、本項を良く読んで内容を理解した上で行なって下さい。全設定記録で保存したファイルをメモ帳などのテキストエディタで開いてください。以下のような内容が表示されます。

全設定記録で保存した設定ファイルの例

```

config_all.dat - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
$FNX0660
#-----
# 拠点ID=01
# 拠点名称=大阪
#-----
# MACアドレス=00:40:41:**:**
# シリアル番号=SW*****
# システムバージョン=V1.*.*-*****
#-----
# 取得日時=2006年10月01日 10:10
#-----
OFFICE_WAN_TYPE='1'
IP1='10.1.2.3'
GATEWAY='10.1.2.100'
PPPOE_USERNAME=''
PPPOE_PASSWORD=''
PPPOE_OWN_MEMBERID='01'
PPPOE_MEMBER_ALIAS01='大阪'
PPPOE_MEMBER_ALIAS02='奈良'
PPPOE_MEMBER_ALIAS03='広島'
PPPOE_MEMBER_ALIAS04='福岡'
PPPOE_MEMBER_ALIAS05='岡山'
PPPOE_MEMBER_ALIAS06='愛媛'
PPPOE_MEMBER_ALIAS07='

```

機種コード

- ・全設定記録をした機種を示します。
- ・一括設定する対象機種と一致している必要があります

ヘッダー部

- ・全設定記録を行なった装置に関する情報です。
- ・コメント行なので、復元時には意味を持ちません。

コンフィグ部

- ・設定値を指定します。

全設定記録で保存したファイルの先頭には、Flebo シリーズのどの機種の設定ファイルかを示す、機種コードが記録されています。一括設定時にはこの機種コードが本体の機種と一致していなければなりません。機種コードには以下の種類があります。

```

$FNX0660    ....  FNX0660  Flebo オフィス (本機種)
$FNX0610    ....  FNX0610  Flebo
$FNX0620    ....  FNX0620  Flebo ひかり

```

2行目から11行目までは、全設定記録を行なった装置に関する情報が記録されたヘッダー部です。

ヘッダー部は # で始まるコメント行で、一括設定時には意味を持たず、装置に反映されることはありません。

ヘッダー部の下の「OFFICE_WAN_TYPE=」以下の行が、実際に設定情報を記録したコンフィグ部になっています。コンフィグ部は以下のような書式になっています。

コンフィグ部は以下のような書式になっています。

コンフィグ項目='設定値'

左辺の「コンフィグ項目」と右辺の「設定値」とを = (イコール) で結ぶ形式です。

「設定値」の前後は ' (シングルコーテーション) で括られていなければなりません。

(1) コンフィグ項目

Flebo の各種設定項目を識別するための、あらかじめ決められた文字列です。
半角の、アルファベット(*1)・数字および _ (アンダースコア)で構成されています。
アルファベットは password、password_2 以外は全て大文字を用いています。

後述するコメント行以外の各行の先頭は、コンフィグ項目で始まります。
行の先頭がコンフィグ項目で無い場合、エラーと判断し、一括設定ができません。
コンフィグ項目は装置によりあらかじめ決められており、変更することはできません。
それぞれのコンフィグ項目の意味については、5 項を参照してください。

全設定記録で保存したファイルには、装置が必要とする全てのコンフィグ項目が含まれていますが、一括設定時には、設定値を変更する必要があるコンフィグ項目だけがあれば問題ありません。
設定ファイルにコンフィグ項目自体が含まれていない場合は、そのコンフィグ項目は装置内設定のままで変更されません。

(2) 設定値

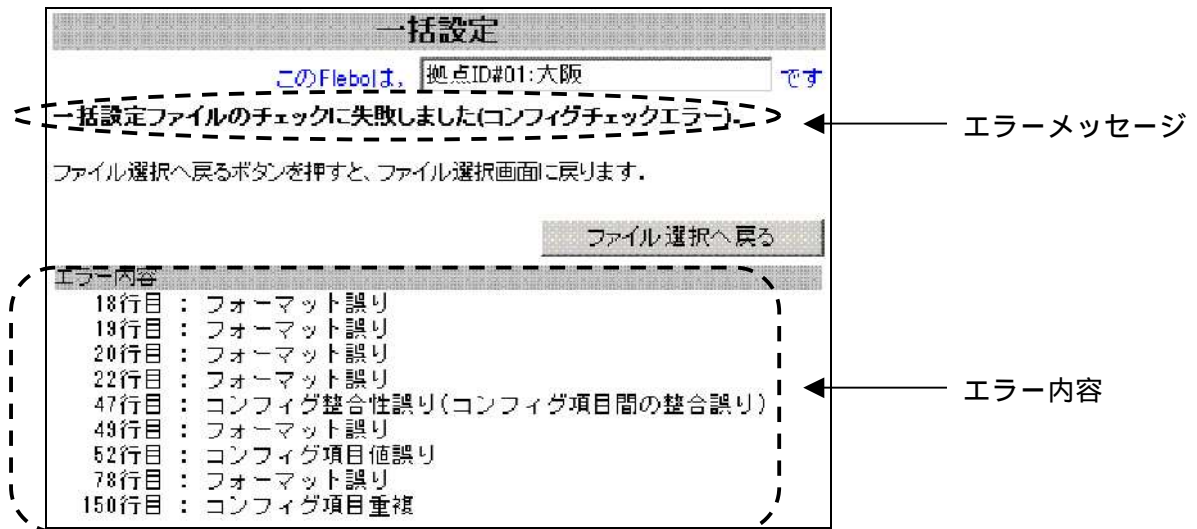
各コンフィグ項目に設定する値を指定します。コンフィグ項目により設定値は数字であったり、文字列であったりします。
設定値はその前後を必ず ' (シングルコーテーション)で括られていなければなりません。
また、設定値の中に上記の括りとは別の ' (シングルコーテーション)や " (ダブルコーテーション)が含まれてはなりません。
各設定値の範囲・使用してよい文字の種類などは、5 項を参照してください。

(3) コメント行

設定ファイル中にはコメントを記述することも可能です。
行の先頭が # で始まる場合、その行はコメント行として認識されます。
コメント行は # を含めて最大 510 バイト (全角文字 254 文字以下分)までで、それ以上長いコメントを記述する場合は複数行に分けて、それぞれの行の先頭に # を入れてください。
逆に、行の先頭に # がない行は全てコンフィグ項目として解釈されるため、コンフィグ項目と一致しない文字列などが入っている場合は、読み込み時にエラーとなります。

4. 一括設定時のエラー出力について

一括設定メニューでファイルを読み込み、[ファイルチェック]を行なったとき、設定ファイルに誤りがあると下記のようなエラー画面が表示されます。



エラー内容が表示されている場合はエラーを検知したコンフィグ項目のある行数と、そのエラー種別を表します。

以下の表を参照して、エラーごとに適切な対処を行なってください。

エラーメッセージ	エラー内容	対処
一括設定ファイルのチェックに失敗しました (コンフィグチェックエラー)。	フォーマット誤り	コンフィグ行の形式が正しくないことを示します。以下の原因が考えられますので設定ファイルを確認してください。 ・「コンフィグ項目」と「設定値」の間の = (イコール) がいない ・「設定値」の前後が ' シングルコーテーションで括られていない。 ・上記とは別の ' (シングルコーテーション) や " (ダブルコーテーション) が含まれている ・「コンフィグ項目」以外の文字列が記述されている 上記のような誤りがないか、設定ファイルを確認してください。
	コンフィグ項目重複	同じコンフィグ項目が複数書かれていることを示します。2箇所同じコンフィグ項目があった場合、例えば設定値が同じであってもエラーになります。エラーで指定された行を確認し、同じコンフィグ項目が他に含まれていないか確認し、1つだけになるよう設定ファイルを修正してください
	コンフィグ項目値誤り	コンフィグ項目に対する設定値に誤りがあります。例えば、 ・設定値の取り得る範囲を超えている。 ・数字で設定する項目に数字以外の文字が入っている ・文字列の長さ制限に違反している ・使ってはいけない文字を使っている 上記のような設定値を指定していないか確認してください。
	コンフィグ整合性誤り(コンフィグ項目間の整合誤り)	コンフィグ項目間の整合性に矛盾があることを示します。以下の原因が考えられます。例えば機能を無効に設定したコンフィグ項目に対するパラメータが設定されていた場合にエラーと判断します。コンフィグ項目間で矛盾の無い設定に変更してください。

エラーメッセージ	エラー内容	対処
一括設定ファイルのチェックに失敗しました(アクセスエラー).	表示なし	設定ファイルの読み込みでエラーが発生したことを示します. ファイル選択に戻って、もう一度読み込みを行なってください.
一括設定ファイルのチェックに失敗しました (VLANTAG_MAP_ENABLE の値が間違っています).	表示なし	VLANTAG_MAP_ENABLE の設定値が'1'(マッピング) / '0'(透過)以外に設定されていた場合に表示されます. VLANTAG_MAP_ENABLE の値は、'1'または'0'に設定してください.
一括設定ファイルのチェックに失敗しました (MAPMETHOD_VPNSEPARATE の値が間違っています).	表示なし	MAPMETHOD_VPNSEPARATE の設定値が'1'(個別にマップする) / '0'(全ての拠点を同一マッピングにする)以外に設定されていた場合に表示されます. MAPMETHOD_VPNSEPARATE の値は、'1'または'0'に設定してください.
一括設定ファイルで機種種の識別が出来ません.	表示なし	設定ファイルの先頭に機種名が記録されていない場合に表示されます. 設定ファイルの先頭には必ず \$FNX0660 と機種コードを書いてください.

5 . コンフィグ項目一覧

ここでは各コンフィグ項目の意味と、設定値について解説します。

設定ファイルを編集する際は、本項を良く読んで内容を理解してから行なって下さい。

OFFICE_WAN_TYPE

払い出し IP アドレスを PPPoE で取得するか、IP1 で設定された値を用いるかを指定します。
設定値は '1' または '5' で指定してください。

- ・ PPPoE で取得した IP アドレスを用いる '5'
 - ・ IP1 で指定した値を用いる '1'
- 設定例 '5'
初期値 '1'

【関連 GUI メニュー】 必須設定 - WAN ポート設定

IP1

PPPoE オフ (WAN_TYPE='1') で使用する場合に、自拠点に設定する払い出し IP アドレスを指定します。

PPPoE オン (WAN_TYPE='5') の場合、本項目は意味を持ちません。PPPoE で接続をした時点で網から払い出された IP アドレスに上書きされます。

- 「**」が自拠点 ID と等しい PPPOE_MEMBER_IPADDRESS** の指定値と同じ値にする必要があります。
- 「**」が自拠点 ID と等しい PPPOE_MEMBER_ENABLE** も指定する場合は、'0' を指定する必要があります。

設定例 '10.1.1.123'
初期値 '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 必須設定 - WAN ポート設定

GATEWAY

PPPoE オフ (WAN_TYPE='1') で使用する場合に、網側ルータの IP アドレスを指定します。

PPPoE オン (WAN_TYPE='5') の場合、この項目は意味を持ちません。PPPoE で接続した時点で網から通知された PPPoE サーバ側の IP アドレスに上書きされます。

設定例 '10.1.1.1'
初期値 '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 必須設定 - WAN ポート設定

PPPOE_USERNAME

「フレッツ・グループ」「フレッツ・グループアクセス」に接続するためのユーザ ID を指定します。
OFFICE_WAN_TYPE が '1' の場合、本項目は '' (設定値なし) にしてください。

- ・ ユーザ ID は、契約書類を参照してください。
ユーザ ID は契約書類に記載のユーザ ID@グループ ID になります。
- ・ ユーザ ID に 2 個以上の 「 @ 」 の使用、および以下の文字の使用はできません。
, ¥ , \$, ' (シングルコーテーション), " (ダブルコーテーション), 半角スペース
- ・ その他の文字についてはネットワークサービスの制限を確認してください。

設定例: 'user01@abcd.efgh'
初期値: '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 必須設定 - PPPoE 設定

PPPOE_PASSWORD

「フレッツ・グループ」「フレッツ・グループアクセス」に接続するためのパスワードを指定します。
OFFICE_WAN_TYPE が '1' の場合、本項目は '' (設定値なし) にしてください。

- ・ パスワードは、契約書類を参照してください。
- ・ パスワードに、以下の文字は使用できません。
, ¥ , \$, @ , ' (シングルコーテーション), " (ダブルコーテーション), 半角スペース
- ・ その他の文字についてはネットワークサービスの制限を確認してください。

設定例: 'user01'
初期値: '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 必須設定 - PPPoE 設定

PPPOE_OWN_MEMBERID

自拠点の拠点 ID を指定します。

01～30 の範囲で数字で指定してください。

設定例： '20'

初期値： '01'

【関連 GUI メニュー】 必須設定 - 拠点設定

PPPOE_MEMBER_ALIAS**

拠点 ID**の拠点名称を指定します。

コンフィグ項目の**には、01～30 までの 2 桁の数字が入り接続先の拠点番号を表しています。本設定項目は合計で 30 個あります。

拠点名称は相手拠点の識別を容易にするために使用するもので、未設定でも動作に影響はありません。

本項目は PPPOE_MEMBER_IPADDRESS** と対になる設定項目で、本項目を設定しても PPPOE_MEMBER_IPADDRESS**に IP アドレスが指定されていない場合、「コンフィグ不整合」のエラーになります。

設定値は全角 8 文字、半角 16 文字以内で指定してください。

禁止文字 ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション)

設定例： '大阪'

初期値： '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - VPN 詳細設定

PPPOE_MEMBER_IPADDRESS**

拠点 ID**の払い出し IP アドレスを指定します。

コンフィグ項目の**には、01～30 までの 2 桁の数字が入り接続先の拠点番号を表しています。本設定項目は合計で 30 個あります。

接続しない拠点については、本項目は'' (設定値なし)にしてください。本項目に IP アドレスが設定されている場合、その対向拠点は VPN 監視対象になります。

本項目はPPPOE_MEMBER_ALIAS**と対になる設定項目ですが、本項目のみ設定してPPPOE_MEMBER_ALIAS**に拠点名称が設定されていない場合でも設定は有効になります。

「**」が自拠点 ID と等しいものは、IP1 と同じアドレスが記述されている必要があります。

IP アドレスの指定がない場合 ('' (設定なし) や '0.0.0.0' 等) には、「**」が等しい「PPPOE_MEMBER_ENABLE**」のコンフィグ項目を '0' にする必要があります。

設定例： '10.1.2.3'

初期値： '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - VPN 詳細設定

RMT_CFG**_ACCEPT

拠点 ID**からの設定変更を許可するかどうかを示します。

コンフィグ項目の**には、01～30 までの 2 桁の数字が入り接続先の拠点番号を表しています。本設定項目は合計で 30 個あります。

設定値は'0'または'1'で指定してください。

・設定変更を許可する場合は'1'

・設定変更を許可しない場合は'0'を設定します。

センタ拠点のように他の拠点から設定を変更されたくない拠点の場合、本設定を'0'(不許可)にしてください。

設定例： '0'

初期値： '1'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 遠隔設定許可

PPPOE_MEMBER_ENABLE**

対向拠点との VPN 監視の警報を発生するか抑止するかを指定します。

コンフィグ項目の**には、01～30 までの 2 桁の数字が入り接続先の拠点番号を表しています。本設定項目は合計で 30 個あります。

設定値は'0'または'1'で指定してください。

「**」が自拠点 ID と等しいものは設定値を'0'で指定してください。

設定値が'1'の場合、「**」が等しい「PPPOE_MEMBER_IPADDRESS**」の IP アドレスの指定がされている必要があります。

・VPN 警報を抑止する '1'

・VPN 警報を発生する '0'

設定例： '1' (VPN 警報を抑止する)

初期値： '0'

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - VPN 詳細設定

SNMP_SET_ENABLE

SNMP マネージャからの SET 要求を受け付けるか否かを設定します。

・SET 要求を受け付ける場合 '1'

・SET 要求を受け付けない場合 '0'

設定例： '1' (要求を受け付ける)

初期値： '0'

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_RWCOMMUNITY

SNMP マネージャからの SET 要求フレームを受け取るかどうかを判断するためのコミュニティ名を指定します。

コミュニティ名は 32 バイト以下の半角英数記号を指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

SNMP マネージャ側が SET 要求に付与したコミュニティ名が、ここで指定したコミュニティ名と一致した場合、その SET 要求を受け取り処理します。コミュニティ名が一致しない場合は SNMP マネージャに対しエラーを返し、SET 要求は反映されません。

コミュニティ名は SNMP マネージャ側の設定と一致するように設定してください。

前記 SNMP_SET_ENABLE が'0'の (SET 要求を受け取らない) 場合、本設定項目は意味を持ちません。

設定例： 'rw_password'

初期値： 'private'

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_GET_ENABLE

SNMP マネージャからの GET 要求を受け付けるか否かを設定します。

・GET 要求を受け付ける場合 '1'

・GET 要求を受け付けない場合 '0'

設定例： '1' (要求を受け付ける)

初期値： '0'

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_ROCOMMUNITY

SNMP マネージャからの GET 要求フレームを受け取るかどうかを判断するためのコミュニティ名を指定します。

コミュニティ名は 32 バイト以下の半角英数記号を指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

SNMP マネージャ側が GET 要求に付与したコミュニティ名が、ここで指定したコミュニティ名と一致した場合、その GET 要求を受け取り処理します。コミュニティ名が一致しない場合は SNMP マネージャに対しエラーを返し、GET 要求は処理されません。

コミュニティ名は SNMP マネージャ側の設定と一致するように設定してください。

前記 SNMP_GET_ENABLE が '0' の (GET 要求を受け取らない) 場合、本設定項目は意味を持ちません。

設定例: 'ro_password'

初期値: 'public'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_TRAP*_ENABLE

SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

SNMP トラップの送信先は 2 つまで登録できます。

コンフィグ項目の*には 1 もしくは 2 が入り、2 つのトラップ送信先を識別します。

・ SNMP トラップを送信を有効にする場合 '1'

・ SNMP トラップを送信を無効にする場合 '0' を指定します。

2 つのトラップ送信先はそれぞれ独立に有効 / 無効を設定できます。

また、トラップの種別ごとにも有効 / 無効を設定できます。

【関連項目】 SNMP_TRAP*_IPADDRESS

本項目を無効で指定する場合は、SNMP_TRAP_IPADDRESS は ' (指定値なし) にしてください。

本項目を有効で指定する場合は、SNMP_TRAP_IPADDRESS に正しいトラップ送信先アドレスが指定されている必要があります。

設定例: '1' (トラップ送信有効)

初期値: '0' (トラップ送信無効)

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_TRAP*_COMMUNITY

SNMP トラップを送信する際に付与するコミュニティ名を指定します。

2 つの SNMP トラップの送信先に対応し、本項目も 2 つまで登録できます。

コンフィグ項目の*には 1 もしくは 2 が入り、2 つのトラップ送信先を識別します。

コミュニティ名は 32 バイト以下の半角英数記号を指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

また 2 つのトラップ送信先はそれぞれ独立に有効 / 無効を設定できます。

【関連項目】本項目を有効にした場合、SNMP_TRAP_IPADDRESS には正しい送信先の IP アドレスを指定して下さい。

設定例: 'trap_password'

初期値: 'public'

【関連 GUI メニュー】 オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_TRAP*_IPADDRESS

SNMP トラップの送信先 IP アドレスを指定します。
SNMP トラップの送信先は 2 つまで登録できます。
コンフィグ項目の*には 1 もしくは 2 が入り、2 つのトラップ送信先を識別します。
ここで指定された IP アドレスに対し、トラップが送信されます。
2 つのトラップ送信先はそれぞれ独立に有効 / 無効を設定できます。

【関連項目】SNMP_TRAP*_ENABLE

SNMP_TRAP*_ENABLE 項目が無効で指定されている場合は、本項目は'' (指定値なし) にしてください。
SNMP_TRAP*_ENABLE 項目が有効で指定されている場合は、本項目の IP アドレスの先頭 1 バイトが 0 以外かつ 240 未満の正しい送信先 IP アドレスを指定する必要があります。

設定例: '172.16.200.10'

初期値: '' (設定値なし)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_SYSCONTACT

RFC1213(MIB-II)で定義される MIB 項目のうち、system グループの sysContact の値を指定します。
本設定項目は 255 バイト以下の半角英数記号を指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

設定例: 'admin'

初期値: 'root@'

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_SYSNAME

RFC1213(MIB-II)で定義される MIB 項目のうち、system グループの sysName の値を指定します。
本設定項目は 255 バイト以下の半角英数記号を指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

設定例: 'Office_No1'

初期値: 'Flebo_Office'

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_SYSLOCATION

RFC1213(MIB-II)で定義される MIB 項目のうち、system グループの sysLocation の値を指定します。
本設定項目は 255 バイト以下の半角英数記号を指定して下さい。ただし ' (シングルコーテーション) " (ダブルコーテーション) はご使用になれません。

設定例: '5F-WEST'

初期値: 'unknown'

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_COLDSTART_ENABLE

SNMP の ColdStart トラップを送信するか否かを指定します。

- ColdStart トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ColdStart トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_WARMSTART_ENABLE

SNMP の WarmStart トラップを送信するか否かを指定します。

- ・ WarmStart トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・ WarmStart トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_LINKUP_WAN_ENABLE

WAN ポートのリンクアップを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・ トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・ トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_LINKUP_LAN_ENABLE

LAN1 ~ 4 ポートのリンクアップを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・ トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・ トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_LINKUP_ADMIN_ENABLE

管理ポートのリンクアップを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・ トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・ トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_LINKDOWN_WAN_ENABLE

WAN ポートのリンクダウンを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・ トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・ トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例: '0' (トラップ送信無効)

初期値: '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_LINKDOWN_LAN_ENABLE

LAN1 から 4 ポートのリンクダウンを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが'1'(トラップ送信有効)の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_PPPOESTABLISH_ENABLE

PPPoE セッションの確立を通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが'1'(トラップ送信有効)の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_PPPOEFAIL_ENABLE

PPPoE セッションダウンを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが'1'(トラップ送信有効)の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_EQUIPMENTFAIL_ENABLE

装置故障を検出したことを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが'1'(トラップ送信有効)の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_VPNESTABLISH_ENABLE

対向拠点との VPN 確立を通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが'1'(トラップ送信有効)の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_VPNFAIL_ENABLE

対向拠点との VPN 障害発生を通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが'1'(トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_REMOTE_LINKUP_LAN_ENABLE

対向装置の LAN ポートリンクアップを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが'1'(トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_REMOTE_LINKUP_ADMIN_ENABLE

対向装置の管理ポートリンクアップを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが'1'(トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_REMOTE_LINKDOWN_LAN_ENABLE

対向装置の LAN ポートリンクダウンを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが'1'(トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_REMOTE_LINKDOWN_ADMIN_ENABLE

対向装置の管理ポートリンクダウンを通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが'1'(トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

SNMP_REMOTE_EQUIPMENTFAIL_ENABLE

対向装置の装置故障を通知する SNMP トラップを送信するか否かを指定します。

- ・トラップの送信を有効にする場合 '1'
- ・トラップの送信を無効にする場合 '0' を指定します。

【関連項目】SNMP_TRAP1_ENABLE もしくは SNMP_TRAP2_ENABLE の少なくともどちらかが '1' (トラップ送信有効) の場合のみ本項目も有効になります。

設定例： '0' (トラップ送信無効)

初期値： '1' (トラップ送信有効)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - SNMP 設定

WAN_MODE

WAN ポートの通信モードを指定します。

設定値は 0~4 の半角数字で指定します。

- ・自動(Auto-Negotiation) '0'
 - ・100M - 全二重 '1'
 - ・100M - 半二重 '2'
 - ・10M - 全二重 '3'
 - ・10M - 半二重 '4'
- 設定例： '1' (100M 全二重固定)
初期値： '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - イーサポート設定

LAN1_MODE

LAN1 ポートの通信モードを指定します。

設定値は 0~4 の半角数字で指定します。

- ・自動(Auto-Negotiation) '0'
 - ・100M - 全二重 '1'
 - ・100M - 半二重 '2'
 - ・10M - 全二重 '3'
 - ・10M - 半二重 '4'
- 設定例： '1' (100M 全二重固定)
初期値： '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - イーサポート設定

LAN2_MODE

LAN2 ポートの通信モードを指定します。

設定値は 0~4 の半角数字で指定します。

- ・自動(Auto-Negotiation) '0'
 - ・100M - 全二重 '1'
 - ・100M - 半二重 '2'
 - ・10M - 全二重 '3'
 - ・10M - 半二重 '4'
- 設定例： '1' (100M 全二重固定)
初期値： '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - イーサポート設定

LAN3_MODE

LAN3 ポートの通信モードを指定します。
設定値は 0~4 の半角数字で指定します。

- ・自動(Auto-Negotiation) '0'
 - ・100M - 全二重 '1'
 - ・100M - 半二重 '2'
 - ・10M - 全二重 '3'
 - ・10M - 半二重 '4'
- 設定例: '1' (100M 全二重固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - イーサポート設定

LAN4_MODE

LAN4 ポートの通信モードを指定します。
設定値は 0~4 の半角数字で指定します。

- ・自動(Auto-Negotiation) '0'
 - ・100M - 全二重 '1'
 - ・100M - 半二重 '2'
 - ・10M - 全二重 '3'
 - ・10M - 半二重 '4'
- 設定例: '1' (100M 全二重固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - イーサポート設定

ADMIN_MODE

管理ポートの通信モードを指定します。
設定値は 0~4 の半角数字で指定します。

- ・自動(Auto-Negotiation) '0'
 - ・100M - 全二重 '1'
 - ・100M - 半二重 '2'
 - ・10M - 全二重 '3'
 - ・10M - 半二重 '4'
- 設定例: '1' (100M 全二重固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - イーサポート設定

WAN_MDI

WAN ポートのコネクタピンアサインを指定します。
設定値は '0' または '1' (半角数字) で指定します。

- ・自動(Auto-MDIX) '0'
 - ・ストレート(MDI)固定 '1' (HUB とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例: '1' (MDI 固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - イーサポート設定

LAN1_MDI

LAN ポート 1 のコネクタピンアサインを指定します。
設定値は '0' または '1' (半角数字) で指定します。

- ・自動(Auto-MDIX) '0'
 - ・クロス(MDIX)固定 '1' (PC とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例: '1' (MDIX 固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - イーサポート設定

LAN2_MDI

LAN ポート 2 のコネクタピンアサインを指定します。

設定値は '0' または '1' (半角数字) で指定します。

- ・ 自動 (Auto-MDIX) '0'
 - ・ クロス (MDIX) 固定 '1' (PC とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例: '1' (MDIX 固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - イーサポート設定

LAN3_MDI

LAN ポート 3 のコネクタピンアサインを指定します。

設定値は '0' または '1' (半角数字) で指定します。

- ・ 自動 (Auto-MDIX) '0'
 - ・ クロス (MDIX) 固定 '1' (PC とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例: '1' (MDIX 固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - イーサポート設定

LAN4_MDI

LAN ポート 4 のコネクタピンアサインを指定します。

設定値は '0' または '1' (半角数字) で指定します。

- ・ 自動 (Auto-MDIX) '0'
 - ・ クロス (MDIX) 固定 '1' (PC とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例: '1' (MDIX 固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - イーサポート設定

ADMIN_MDI

管理ポートのコネクタピンアサインを指定します。

設定値は '0' または '1' (半角数字) で指定します。

- ・ 自動 (Auto-MDIX) '0'
 - ・ クロス (MDIX) 固定 '1' (PC とストレートケーブルで接続できます)
- 設定例: '1' (MDIX 固定)
初期値: '0' (自動)

【関連 GUI メニュー】オプション設定 - イーサポート設定

OWN_VPN_ID

VPN を識別するための VPN-ID を指定します。

VPN-ID を設定することで、VPN 内をセグメント分けすることができます。

通常は初期値で使用します。

設定値は半角数字で指定してください。

範囲は 0 ~ 65535 の範囲で指定してください。

設定例: '100'

初期値: '0'

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - VPN-ID/VLAN 設定

PRI_UNTAG

VLAN タグが付与されていないフレームについて、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0'または'1'で指定してください。

- ・優先 '1'
- ・非優先 '0'
- 設定例: '1' (優先)
- 初期値: '0' (非優先)

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - 優先制御設定

PRI_BACKGROUND

VLAN タグ内の user_priority が"1"であるフレームに対し、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0'または'1'で指定してください。

- ・優先 '1'
- ・非優先 '0'
- 設定例: '1' (優先)
- 初期値: '0' (非優先)

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - 優先制御設定

PRI_SPARE

VLAN タグ内の user_priority が"2"であるフレームに対し、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0'または'1'で指定してください。

- ・優先 '1'
- ・非優先 '0'
- 設定例: '1' (優先)
- 初期値: '0' (非優先)

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - 優先制御設定

PRI_BESTEFFORT

VLAN タグ内の user_priority が"0"であるフレームに対し、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0'または'1'で指定してください。

- ・優先 '1'
- ・非優先 '0'
- 設定例: '1' (優先)
- 初期値: '0' (非優先)

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - 優先制御設定

PRI_EXCELLENTEFFORT

VLAN タグ内の user_priority が"3"であるフレームに対し、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0'または'1'で指定してください。

- ・優先 '1'
- ・非優先 '0'
- 設定例: '1' (優先)
- 初期値: '0' (非優先)

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - 優先制御設定

PRI_CONTROLLEDLOAD

VLAN タグ内の user_priority が"4"であるフレームに対し、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0'または'1'で指定してください。

- ・優先 '1'
- ・非優先 '0'
- 設定例: '0' (非優先)
- 初期値: '1' (優先)

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - 優先制御設定

PRI_VIDEO

VLAN タグ内の user_priority が"5"であるフレームに対し、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0'または'1'で指定してください。

- ・優先 '1'
- ・非優先 '0'
- 設定例: '0' (非優先)
- 初期値: '1' (優先)

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - 優先制御設定

PRI_VOICE

VLAN タグ内の user_priority が"6"であるフレームに対し、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0'または'1'で指定してください。

- ・優先 '1'
- ・非優先 '0'
- 設定例: '0' (非優先)
- 初期値: '1' (優先)

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - 優先制御設定

PRI_NETWORKCONTROL

VLAN タグ内の user_priority が"7"であるフレームに対し、LAN WAN 転送時に優先処理するか非優先とするかを指定します。

本体背面の「優先切り替えスイッチ」を ON にしている場合、ポート優先機能が有効になり、本設定で指定した VLAN タグによる優先制御は無効になります。

'0'または'1'で指定してください。

- ・優先 '1'
- ・非優先 '0'
- 設定例: '0' (非優先)
- 初期値: '1' (優先)

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - 優先制御設定

WAN_BANDWIDTH

LAN WAN 転送時の帯域制御の値を指定します

ADSL など WAN 回線の帯域が狭いときに設定すると、優先制御機能が効果的に動作します。

設定値は半角の数字で指定してください。

指定できる値は以下の通りです。これ以外の値は設定はできません。

0.3, 0.5, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100 (Mb/s)

設定例: '10' (10Mb/s)

初期値: '100'

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - 帯域制御

KEEP_ALIVE_TIME

VPN を構成している Flabo 間で VPN 状態を監視する間隔を指定します。

WAN 側の帯域が狭く、VPN ランプが頻繁に点灯・点滅する場合は監視間隔を大きくすると有効な場合があります。

設定値は半角の数字で指定してください。

指定できる値は以下の 3 通りです。これ以外の値は設定はできません。

2, 4, 8 (秒)

設定例: '8' (8 秒)

初期値: '2'

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - VPN 監視設定

SELECT_MTU

WAN ポートの MTU サイズを指定します。

通常は初期値でご使用ください。

設定値の指定は以下の 3 種類から選択してください。これ以外の値は設定はできません。

MTU1, MTU2, MTU3

それぞれの設定値と WAN 側へ送信する IP データグラムのサイズは以下の通りです

MTU1 --- 1188Byte

MTU2 --- 1364Byte

MTU3 --- 1454Byte

設定例: 'MTU1' (1188Byte)

初期値: 'MTU2' (システムバージョン V1.1.0 の場合、初期値は'MTU3'になります)

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - MTU 設定

LOOP_DETECT_ENABLE

ループ検出機能の有効・無効を指定します。

Flebo では入力フレームの送信元 MAC アドレスを監視してループを検出・遮断します。

ループ検出機能の初期値は有効になっています。

特殊なプロトコルなどでこの機能を使用しない場合は"無効"に設定してください。

設定値は半角数字で指定してください

・ループ検出機能を有効にする '1'

・ループ検出機能を無効にする '0'

設定例: '0' (ループ検出無効)

初期値: '1' (ループ検出有効)

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - ループ検出設定

DMZ_IP

管理ポートの IP アドレスを指定します。

管理用ネットワークのアドレス体系に合わせ、他と重複しない IP アドレスを設定して下さい。

設定例: '172.16.100.100'

初期値: '192.168.0.1'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 管理ポート IP アドレス

DMZ_NETMASK

管理ポートのサブネットマスクを指定します

管理用ネットワークのアドレス体系に合わせ、サブネットマスクを設定して下さい。

設定例: '255.255.0.0'

初期値: '255.255.255.0'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 管理ポート IP アドレス

DMZ_GATEWAY

管理ポートのデフォルトゲートウェイを指定します。

デフォルトゲートウェイは管理ポートと同じネットワークアドレスで無ければなりません。

お使いの管理用ネットワークに実在するルータの IP アドレスを設定して下さい。全ての GUI 管理用端末、SNMP マネージャおよびトラップ送信先が同じサブネットに属す場合は、本項目は設定の必要がありません。

設定例: '172.16.100.1'

初期値: '0.0.0.0'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - 管理ポート IP アドレス

VLANTAG_MAP_ENABLE

VPN-ID 値と VLAN タグのマッピングに関する設定ができます。

VLAN タグを「マップする」設定にすると WAN 側の VPN-ID と LAN 側の VLAN がマッピングされ、VLAN タグの付与/フィルタリングをします。

VLAN タグを「透過する」設定にすると VLAN タグは透過します。

VLANTAG_MAP_ENABLE を '0' で指定した場合、MAPMETHOD_VPNSEPARATE も '0' で指定してください。

VLAN タグを透過、またはマップする場合はポート優先スイッチをオフにご使用下さい。

ポート優先スイッチがオンになっていると VLAN タグは廃棄されます。

・マップする '1'

・透過する '0'

設定例: '1' (VPN-ID と VLAN タグをマップする)

初期値: '0' (VLAN タグを透過する)

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - VPN-ID/VLAN 設定

MAPMETHOD_VPNSEPARATE

VLANTAG_MAP_ENABLE を '1' (マップする) にした場合の VLAN タグと VPN-ID の対応関係を、拠点ごとに変えるか、全て同じマッピングにするかを指定します。

設定値は '0' または '1' で指定してください。

- ・個別にマップする '1'
- ・全ての拠点を同一マッピングにする '0'

個別にマップする場合は、同じ VPN 内の拠点ごとに VLAN タグと VPN-ID の対応関係を独立に設定できます。

全ての拠点を同一マッピングにするを選択した場合は、全ての拠点に対し、同じマッピングを適用します。

VLANTAG_MAP_ENABLE を '0' で指定した場合、MAPMETHOD_VPNSEPARATE も '0' で指定してください。

ポート優先スイッチをオフにしてご使用下さい。ポート優先スイッチがオンになっていると VLAN タグは廃棄され VPN-ID にマッピングされません。

設定例： '1' (個別にマップする)

初期値： '0' (全ての拠点を同一にマップする)

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - VPN-ID/VLAN 設定

PPPOEOFF_VPN_ID**

VLANTAG_MAP_ENABLE を '1' (マップする) にした場合の、拠点ごとの VPN-ID の値を設定します。

コンフィグ項目の**には、00~30 までの 2 桁の数字が入ります。本設定項目は合計で 31 個あります。

設定値は半角数字で指定してください。範囲は 10 進数で 0~65535 の範囲で指定してください。

MAPMETHOD_VPNSEPARATE が '1' (個別にマップする) の場合は、対向拠点ごとに独立した VPN-ID を設定できますし、複数の拠点に同じ VPN-ID を指定することもできます。この場合、対応する VLAN-ID 値も同じ値に設定してください。

全ての拠点を同一マッピングにするを選択した場合は、この 31 個のコンフィグ項目全てに同じ VPN-ID を指定してください。

VLANTAG_MAP_ENABLE が '1' かつ MAPMETHOD_VPNSEPARATE が '0' になっている場合には、PPPOEOFF_VPN_ID00 の設定値と同じ値にする必要があります。

VLANTAG_MAP_ENABLE が '1' かつ MAPMETHOD_VPNSEPARATE が '1' になっている場合で、「**」が同一の PPPOE_MEMBER_IPADDRESS** コンフィグ値が空欄の時は、本項目の設定値は '0' 以外指定できません。

設定値： '100'

初期値： '0'

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - VPN-ID/VLAN 設定

PPPOEOFF_VLAN_ID**

VLANTAG_MAP_ENABLE を '1' (マップする) にした場合の、拠点ごとの VLAN-ID の値を設定します。

コンフィグ項目の**には、00~30 までの 2 桁の数字が入ります。本設定項目は合計で 31 個あります。

設定値は半角数字で指定してください。

範囲は 10 進数で 1~4094 の範囲で指定してください。

MAPMETHOD_VPNSEPARATE が '1' (個別にマップする) の場合は、対向拠点ごとに独立した VLAN-ID を設定できますし、複数の拠点に同じ VLAN-ID を指定することもできます。この場合、対応する VPN-ID 値も同じ値に設定してください。

全ての拠点を同一マッピングにするを選択した場合は、この 31 個のコンフィグ項目全てに同じ VLAN-ID を指定してください。

VLANTAG_MAP_ENABLE が '1' かつ MAPMETHOD_VPNSEPARATE が '0' になっている場合には、PPPOEOFF_VLAN_ID00 の設定値と同じ値にする必要があります。

VLANTAG_MAP_ENABLE が '1' かつ MAPMETHOD_VPNSEPARATE が '1' になっている場合で、「**」が同一の PPPOE_MEMBER_IPADDRESS** コンフィグ値が空欄の時は、本項目の設定値は '1' 以外指定できません。

設定例： '1024'

初期値： '1'

【関連 GUI メニュー】管理者設定 - VPN-ID/VLAN 設定

PPPOEOFF_VLAN_COS**

VLANTAG_MAP_ENABLE を '1' (マップする) にした場合の、拠点ごとの VLAN タグ内の User-Priority の値を設定します。

コンフィグ項目の**には、00～30 までの 2 桁の数字が入り接続先の拠点番号を表しています。本設定項目は合計で 31 個あります。

設定値は半角数字で指定してください。

範囲は 10 進数で 0～7 の範囲で指定してください。

MAPMETHOD_VPNSEPARATE が '1' (個別にマップする) の場合は、対向拠点ごとに独立した UserPriority を設定できますし、複数の拠点に同じ UserPriority を指定することもできます。

全ての拠点を同一マッピングにするを選択した場合は、この 31 個のコンフィグ項目全てに同じ値を設定してください。

VLANTAG_MAP_ENABLE が '1' かつ MAPMETHOD_VPNSEPARATE が '0' になっている場合には、PPPOEOFF_VLAN_COS00 の設定値と同じ値にする必要があります。

VLANTAG_MAP_ENABLE が '1' かつ MAPMETHOD_VPNSEPARATE が '1' になっている場合で、「**」が同一の PPPOE_MEMBER_IPADDRESS** コンフィグ値が空欄の時は、本項目の設定値は '0' 以外指定できません。

設定例： '7'

初期値： '1'

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - VPN-ID/VLAN 設定

password

一般ユーザ(user)のパスワードを指定する項目です。

設定値は暗号化されていますので、本項目はエディタ等で編集しないでください。

エディタ等で編集したパスワードを一括設定した場合、Web へのログインができなくなります。

誤ってパスワードを変更してしまった場合、装置底面の DIP スイッチにより、パスワードおよび管理ポートのネットワーク設定を初期化できます。詳しくはユーザマニュアルをご確認ください。

Flebo の GUI からパスワードを設定し、全設定記録した時の文字列をそのままご使用いただくか、あるいは本コンフィグ項目を項目ごと削除してから一括設定をおこなってください。コンフィグ項目を削除した場合は、パスワードは変更されません。

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - パスワード変更

password_2

管理者(admin)のパスワードを指定する項目です。

設定値は暗号化されていますので、本項目はエディタ等で編集しないでください。

エディタ等で編集したパスワードを一括設定した場合、Web へのログインができなくなります。

誤ってパスワードを変更してしまった場合、装置底面の DIP スイッチにより、パスワードおよび管理ポートのネットワーク設定を初期化できます。詳しくはユーザマニュアルをご確認ください。

Flebo の GUI からパスワードを設定し、全設定記録した時の文字列をそのままご使用いただくか、あるいは本コンフィグ項目を項目ごと削除してから一括設定をおこなってください。コンフィグ項目を削除した場合は、パスワードは変更されません。

【関連 GUI メニュー】 管理者設定 - パスワード変更

コンフィグ項目 索引 (アルファベット順)

A

ADMIN_MDI	22
ADMIN_MODE	21

D

DMZ_GATEWAY.....	26
DMZ_IP.....	26
DMZ_NETMASK.....	26

G

GATEWAY	12
---------------	----

I

IP1	12
-----------	----

K

KEEP_ALIVE_TIME	25
-----------------------	----

L

LAN1_MDI	21
LAN1_MODE	20
LAN2_MDI	22
LAN2_MODE	20
LAN3_MDI	22
LAN3_MODE	21
LAN4_MDI	22
LAN4_MODE	21
LOOP_DETECT_ENABLE.....	26

M

MAPMETHOD_VPNSEPARATE	27
-----------------------------	----

O

OFFICE_WAN_TYPE	12
OWN_VPN_ID	22

P

password.....	28
password_2	28
PPPOE_MEMBER_ALIAS**	13
PPPOE_MEMBER_ENABLE**	14
PPPOE_MEMBER_IPADDRESS**	13
PPPOE_OWN_MEMBERID.....	13
PPPOE_PASSWORD	12
PPPOE_USERNAME	12
PPPOEOFF_VLAN_COS**	28
PPPOEOFF_VLAN_ID**	27
PPPOEOFF_VPN_ID**	27
PRI_BACKGROUND	23
PRI_BESTEFFECT	23

PRI_CONTROLLEDLOAD.....	24
PRI_EXCELLENTEFFORT	24
PRI_NETWORKCONTROL.....	25
PRI_SPARE	23
PRI_UNTAG	23
PRI_VIDEO	24
PRI_VOICE	24

R

RMT_CFG**_ACCEPT	13
------------------------	----

S

SELECT_MTU	25
SNMP_COLDSTART_ENABLE	16
SNMP_EQUIPMENTFAIL_ENABLE	18
SNMP_GET_ENABLE	14
SNMP_LINKDOWN_LAN_ENABLE.....	18
SNMP_LINKDOWN_WAN_ENABLE.....	17
SNMP_LINKUP_ADMIN_ENABLE.....	17
SNMP_LINKUP_LAN_ENABLE	17
SNMP_LINKUP_WAN_ENABLE	17
SNMP_PPPOEESTABLISH_ENABLE	18
SNMP_PPPOEFAIL_ENABLE	18
SNMP_REMOTE_EQUIPMENTFAIL_ENABLE	20
SNMP_REMOTE_LINKDOWN_ADMIN_ENABLE	19
SNMP_REMOTE_LINKDOWN_LAN_ENABLE	19
SNMP_REMOTE_LINKUP_ADMIN_ENABLE	19
SNMP_REMOTE_LINKUP_LAN_ENABLE.....	19
SNMP_ROCOMMUNITY	15
SNMP_RWCOMMUNITY	14
SNMP_SET_ENABLE	14
SNMP_SYSCONTACT	16
SNMP_SYSLOCATION	16
SNMP_SYSNAME.....	16
SNMP_TRAP*_COMMUNITY	15
SNMP_TRAP*_ENABLE.....	15
SNMP_TRAP*_IPADDRESS	16
SNMP_VPNESTABLISH_ENABLE.....	18
SNMP_VPNFAIL_ENABLE.....	19
SNMP_WARMSTART_ENABLE	17

V

VLANTAG_MAP_ENABLE.....	26
-------------------------	----

W

WAN_BANDWIDTH.....	25
WAN_MDI	21
WAN_MODE	20